

## 1. 日本病理学会 新施設制度のご案内

日本病理学会は現在の病理専門医研修認定施設、病理専門医研修登録施設制度を終了し、新たな施設制度での認定を開始いたします。新施設制度では、病理医が関わっている医療機関を幅広く認定いたします。多くの医療機関からの申請をお待ちしております。

＊病理医が関わっている医療機関を「日本病理学会認定施設」として認定

＊各施設が単独で申請可能

＊新施設制度は 2027 年 4 月 1 日より認定開始

(現制度での施設認定は 2027 年 3 月 31 日で終了)

認定基準細則は以下よりご確認ください。

[https://www.pathology.or.jp/senmoni/ninteishisetsu\\_new251112.pdf](https://www.pathology.or.jp/senmoni/ninteishisetsu_new251112.pdf)

本学会の施設認定は、これまで剖検（解剖）を行う施設を対象としてきましたが、より社会に開かれた制度へと刷新します。本制度は以下の 2 点を柱とし、専門医育成と同時に、国民の皆様は病理診断の重要性を広くお伝えすることを目指しています。

1. 適切な医療を提供する病理診断実施機関の認定

2. 日本専門医機構のプログラムに基づく研修施設の整備（基幹・連携・関連施設の基準制定）

新たな施設認定は、日本専門医機構の専門研修プログラムにおける基幹施設、連携施設、関連施設を認定する基準となるため、研修施設に含まれる予定の医療機関は必ずご申請ください。

### 【概要】

新規認定料・更新料：10,000 円

認定期間：3 年間

認定証の発行：有

年報登録：必須

NCD 剖検登録：剖検実施施設は必須

親施設制度：なし（各施設が独自に申請可能）

### 【初回認定までのスケジュール 予定】

2026 年 9 月 1 日～10 月 31 日 申請受付期間

2027 年 2 月中旬～3 月末まで 審査を経て認定証送付

2027 年 4 月 1 日 認定開始・認定施設一覧を HP 掲載

申請受付に関する詳細は 2026 年 6 月頃、HP にてご案内予定です。

※ 現行制度において認定施設・登録施設として認定されている医療機関についても、新施設制度では改めて申請が必要です。（現行制度からの自動移行は行われません）

## 【フライヤー】

新施設制度のフライヤーを作成いたしました。以下よりダウンロード可能となっております。

新施設制度フライヤーはこちらから

[https://www.pathology.or.jp/senmoni/ninteishisetsu\\_flyer.pdf](https://www.pathology.or.jp/senmoni/ninteishisetsu_flyer.pdf)

※参照 HP:

<https://www.pathology.or.jp/senmoni/nintei-shinseido.html>

## 2. 会員システム刷新および新システム稼働開始のお知らせ

2026 年 1 月より、会員システムが刷新されました。

新システムの稼働が始まりましたので、会員システムの入口およびログイン方法をご案内いたします。

### ■会員システム入口

<https://pathology.sasj2.net/site/jsp/login>

従来と同じホームページ TOP 画面の「会員システムログイン画面」からもアクセスできます。

### ■ログイン方法

会員番号と新しいパスワードでログインします。

### 【初回ログイン】

#### ◎パスワードの取得

「パスワードをお忘れの方へ」をクリックし、パスワード変更手続きから入手してください。

「ログインパスワード変更 日本病理学会」画面で、会員番号(6桁)\*とシステム登録メールアドレスを入力すると、「[日本病理学会] パスワード変更のご案内」というメールが届きます。

そのメールの案内に従って、パスワードを取得してください。

会員番号(6桁)\*...6桁に満たない場合は、先頭に 0 を足してください。

パスワード変更のご案内メールが届かない場合は、登録メールアドレスが異なっている可能性がございます。

事務局で修正いたしますので、メールにてお問い合わせください。

### 【2 回目以降ログイン】

◎会員番号と発行されたパスワードを使用してください。

パスワードの変更は、初回ログイン時と同様に「パスワードをお忘れの方へ」からお手続きください。

※旧システムよりデータ移行しておりますが、データが

正しく反映されていない場合、お手数ですが事務局までメールにてご連絡ください。

お問い合わせ先：

日本病理学会 事務局 jsp.office@pathology.or.jp

※参照 HP：

<https://www.pathology.or.jp/news/members/notices/post-20260107.html>

### 3. 第 74 回（令和 10/2028 年度）秋期特別学術集会会長ならびに第 118 回（令和 11/2029 年度）学術集会会長の募集について（公募のお知らせ）

一般社団法人日本病理学会は、第 74 回（令和 10/2028 年度）秋期特別学術集会会長ならびに第 118 回（令和 11/2029 年度）学術集会会長を以下のとおり募集いたします。

日本病理学会秋期特別学術集会（秋期特別総会）の会長ならびに学術集会（春期総会）の会長は、定款施行細則の定めるところにより、いずれも理事会が選考し、総会において決定しています。

ここに、第 74 回（令和 10/2028 年度）秋期特別学術集会会長ならびに第 118 回（令和 11/2029 年度）学術集会会長を、下記の要領により募集いたします。

#### 記

1. 応募は自薦であること。
2. 応募者は、第 74 回秋期特別学術集会会長の場合は令和 10/2028 年 11 月 1 日に、また、第 118 回春期学術集会会長の場合は令和 11/2029 年 4 月 1 日にそれぞれ満 65 歳以下の日本病理学会学術評議員であること。
3. 第 118 回春期学術集会会長の場合は、日本病理学賞あるいは病理診断学賞を受賞していることが望ましい。
4. 応募者は、日本病理学会学術集会開催要領（別記）の趣旨を踏まえて、所定の用紙に学術集会に対する考え方、学術集会の具体的な実行計画、日本病理学会及び関連学会において近年に行った主要な学術活動等を記載すること。記入に際しては、用紙に適切に収まるよう配慮すること。
5. 署名欄には直筆で氏名を記入すること。
6. 応募の締切りは、令和 8 年 1 月 31 日（土）必着とすること。

なお、所定用紙の交付または本件についての質問がありましたら、本学会事務局までお問い合わせください。

日本病理学会事務局 E-mail: jsp.office@pathology.or.jp

TEL: 03-6206-9070

#### 提出方法

- ① 応募書類送付の前に、応募申請の E-mail をお送りください。
- i) E-mail の件名として「第 74 回秋期特別学術集会会長応募申請」あるいは「第 118 回春期学術集会会長応募申請」とし、その後ろにご自身の会員番号も記載してください。

- ii) 1. 送信予定日時 2. 氏名 3. 所属（教室名まで正式名称を）を記載してください。

- ② ①の申請メール送信後、応募書類（すべての書類をひとつの PDF ファイルとしてつないだもの）を PDF 電子媒体としてメールに添付するかたちで送付してください。

- i) 件名・表題等は「第 74 回秋期特別学術集会会長応募書類送付」あるいは「第 118 回春期学術集会会長応募書類送付」として、その後ろにご自身の会員番号を記載してください。
- ii) ファイル受領から「業務日」3 日以内に受領メールを返信いたします。受領のメールが届かない場合は、すみやかに事務局宛にお問い合わせください。
- iii) 各種連絡や審査用資料の作成については、会員システム登録の情報を元に行われます。事前に登録内容の確認、修正をお願いします。

#### 提出先

一般社団法人日本病理学会 会長公募受付係

E-mail: jsp.office@pathology.or.jp

※各種応募用紙は以下 HP よりダウンロードをお願いします

<https://www.pathology.or.jp/news/kaichouboshuu-251212.html>

#### 【別記】

##### 日本病理学会学術集会開催要領

本学術集会開催要領は、学術集会改革案（平成 18 年 5 月 1 日決定）の主旨に基づき、国際化への対応を含め、改めて学術集会の開催に係る要領を定めたものである。

##### 「背景」

日本病理学会は「病理学に関する学理及びその応用についての研究の振興とその普及を図り、もって学術の発展と人類の福祉に寄与する」ことを目的としており、学術集会は「病理学に関わる学会員が研究発表と意見交換を通して持続的な後継者の育成をするとともに、病理学に関する最新情報の収集を行う場」として重要な役割を担っている。病理学が対象とする分野は広く、基礎研究においては様々な研究手段や技術を含むのみならず、病理診断の精度向上は社会的要請として日本病理学会に課せられている。これら多種多様な分野の連結を図り、新たな医学と医療の発展に寄与するとともに、医療の質を担保する専門医制度の運用と会員の医療レベルの向上に努める必要がある。一方、学問・技術の進歩による研究活動の深化と拡散化、業務の拡大や専門化、支部活動の活性化、学会・研究会の増加などにより、学会員の学術集会に求めるところも変化してきている。さらに、若手病理医・研究医の育成、国際化への対応も重要な課題となっている。

##### 「開催要領」

これらの日本病理学会における命題・課題をふまえ、学術集会では「学術研究活動の発表・意見交換」と「診断病理に関する最新情報の収集」を乖離することなく保証し、

次に掲げる観点に添って開催する。

(1) 病理学に関わる学会員の学術成果の発表の場を提供し、発表を通して若手研究者・病理医の育成を行う。

(2) 蓄積された完成度の高い研究成果や中堅クラスの研究成果の発表を通して病理医・研究者を育成・刺激する。

(3) 病理診断・専門医に関連する講習会を通じて診断精度の維持・向上と新知識の習得を保証し、病理診断医育成を図るとともに、基礎病理学的研究と診断病理学的知見を結びつける研究の推進と発表を促進する。

(4) 世界への情報発信とアジア・オセアニア地域での病理学の中核を担うために国際化に取り組む、など。

(5) 病理学に興味をもつ医学生を増やすため、学部学生の発表の場を準備するとともに、学部学生の参加に便宜を図る。

#### 「具体的留意事項」

(1) 春期学術集会：春期学術集会の学術プログラムが研究と病理診断などのバランスの取れた内容とするため「病理診断講習会」「分子病理診断講習会」とシンポジウム、ワークショップ、一般発表演題との重なりを少なくする。そのために病理学会の事業である「病理診断講習会」「分子病理診断講習会」については、それぞれ病理診断講習会委員会、研究推進委員会は学会長と密接な連携により、その内容の充実を図る。専門医資格更新に必要な講習会を実施する。「宿題報告」は1会場で行い plenary とする。

(2) 秋期特別総会：「学術研究賞(A演説)(7-8件)」、「症例研究賞演説(B演説)」及び「病理診断特別講演(2件)」は1会場で行い plenary とする。会長は学術委員会と密な連携をとり、「シンポジウム」、「教育講演」、「公募演題」などは、会長の裁量にて複数会場で行なうことも可とする。IAP教育セミナーなどとの効果的な連動を考慮する。アジア若手研究者を招聘し発表する場として、国際ポスターセッションを開催する。

(3) 学術集会プログラム統一性の確保：春期学術集会会長および秋期特別総会会長の立候補者は、学術集会プログラムの統一性の確保や類似プログラムの反復・乱立の回避などのため、プログラム内容や企画方針などを応募申請書に明記する。

(4) 国際化への対応：学術集会の国際化を促進するために、英語での参加登録、国際ポスターセッションの設置、日程表の英語版の作成などに努める。

(5) 実際の開催・運営に係る詳細な注意事項は別途定める。

平成26年11月19日 理事会策定

平成27年3月17日 同一部改定

平成28年3月25日 同一部改定

平成29年12月1日 常任理事会一部改定

※参照 HP:

<https://www.pathology.or.jp/news/kaichouboshuu-251212.html>

#### 4. 第8回(2026年度)ハンガリー病理解剖トレーニングコース 参加者募集

近年、日本を含む世界各国で病理解剖数が減少傾向にあり、特に若手病理医が国内で十分な解剖経験を積むことが困難な状況にあります。一方、ハンガリーでは現在も多数の病理解剖が行われています。そこで日本病理学会では、ハンガリー最大の医科大学である Semmelweis 大学と提携し、日本の病理医がハンガリーで短期集中的に病理解剖の経験を積むことができるトレーニングコースを提供しています。

このコースでは、指導教官の下、参加者自らが病理解剖を行い、臓器観察後臨床病理相関をつけ、報告書にまとめるまでの作業を行います。短期間にこれら業務を繰り返すことによって、所見の取り方、病態の理解、報告書作成能力の修得、向上が期待されます。また国際交流としても貴重な経験を得ることができます。

本コースは2014年に試行されたのち、2015年から2019年まで毎年夏に1回、計5回実施され、のべ22名が参加し充実した成果をあげることができました。2020年以降はコロナ禍のため中止しておりましたが、2024年度に再開され、第6回と第7回で計8名が参加しました。第8回となる2026年度は以下の要領でコース参加者を募集します。奮ってご応募ください。

#### 募集要項

##### 1) 実施期間

① 事前自習コース：～2026年6月26日(金)

② 実地実習コース：2026年8月9日(日) 午後6時～8月15日(土) 正午

(①と②の両方を受講いただきます)

初日夕刻は懇親のための夕食会を開催します。

##### 2) 場所

Semmelweis 大学 Department of Pathology, Forensic and Insurance Medicine (ハンガリー ブダペスト)

##### 3) コース責任者

Kiss Andras (Department of Pathology, Forensic and Insurance Medicine 教授)

##### 4) コース内容

①事前自習コース：配布資料を熟読し、病理解剖に必要な英語用語、英文解剖報告書作成要領を習得する。自験例1例を作成要領に沿って作成し、6月26日までに日本病理学会事務局へ提出する。

注) コース初日から病理解剖が行われるため英文での病理解剖レポート作成を事前学習しておく必要があります。配付資料(用語集、過去の校閲済み英文報告書例が含まれます)を参考に各自が過去に執刀した任意の病理解剖一症例につき、作成要領に沿って英文での病理解剖レポートを作成し提出して下さい。レポート提出以外の事前学習は各自に委ねます。

②実地実習コース：Semmelweis 大学主催教室の卓越し



た病理医および技官の指導の下で実際に病理解剖を行い、解剖報告書（英語）を作成する。月曜から金曜にかけて9体の病理解剖を参加者自ら実施する。土曜日に修了証書が授与される。期間中に病理解剖に関する講義、解剖症例のディスカッション顕微鏡での組織観察があります。また文化交流（コンサートや文化施設見学など）が持たれることがあります。

#### 5) 応募資格

日本病理学会会員で、病理解剖を集中して学びたい医師及び歯科医師。病理専門医あるいは死体解剖資格の有無は問わないが、日本での病理解剖の経験が10～15体程度あることが望ましい。

#### 6) 費用

選考の結果参加が確定した者は、コース受講費用として一人60万円を2026年5月18日までに日本病理学会へ支払うこと。費用には研修に必要な資料等も含まれています。

注1) なおこの金額には、現地への渡航費及び滞在費（30万円程度の見込み）は含まれていないことにご注意ください。コース受講費用、渡航費、滞在費は自己負担（可能であれば所属機関の負担）となります。

注2) キャンセルする場合はコース開始日から起算し10週間前（2026年5月31日）までに病理学会事務局へ連絡すること。

注3) 2026年7月26日を過ぎてコースへの参加をキャンセルする場合は、理由の如何によらず、コース受講費用の全額を払う必要がある。

#### 7) 募集人数

4～5名程度（最小催行人数4名）。

応募が4名に満たない場合、本年度の開催は中止となる。

#### 8) 応募期限

2026年1月30日（金）必着（4名に満たない場合は延長します）

#### 9) 応募方法

申込用紙（別紙）を以下参照ホームページよりダウンロードし、必要事項を記入の上、日本病理学会事務局（[jsp.office@pathology.or.jp](mailto:jsp.office@pathology.or.jp)）までメールすること。

#### 10) 選考

日本病理学会海外研修委員会で選考する。なお、応募者多数の場合は、病理専門医試験受験間近の方を優先すること

がある。

選考結果は2026年3月末までに申込者本人へ通知する。

#### 11) 申込後のキャンセルについて

申込後、コースへの参加が困難になった場合は日本病理学会事務局へ速やかに連絡すること。但し選考を経て受講が正式に決定した後に参加を辞退する場合、他の参加予定者にも影響が出る場合があるので、選考終了後の参加辞退はできる限り避けること。2026年7月26日を過ぎてコースへの参加をキャンセルする場合は、理由の如何によらず、コース受講費用の全額を払う必要がある。

#### 12) 宿泊

宿泊は研修施設までの至近距離のホテルを斡旋します。建物は新しく快適で、地下鉄駅の正面に位置します。

#### 13) その他

コース修了者にはSimmelweis大学より受講証が交付される。受講証の写しを病理専門医試験受験申請時に提出することで、病理専門医試験受験に必要な病理解剖経験数のうち4体に充てることができる。但し、死体解剖資格申請に必要な病理解剖経験数に含めることはできない。

なお過去のハンガリー病理解剖トレーニングコース体験記は、病理学会ホームページに掲載されてますので是非ご覧下さい。

疑問や質問はご遠慮なく以下にお問い合わせ下さい。出来るだけ迅速に回答致します。

問い合わせ先：日本病理学会事務局

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-17

神田INビル6階

TEL 03-6206-9070

FAX 03-6206-9077

E-mail: [jsp.office@pathology.or.jp](mailto:jsp.office@pathology.or.jp)

※参照HP:

<https://www.pathology.or.jp/news/members/applications/hungary-251224.html>

## 5. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

森山 昌樹 功労会員（令和7年9月20日ご逝去）

味岡 洋一 元学術評議員（令和7年12月27日ご逝去）